

やすらぎ

日本聖公会 九州教区 福岡聖パウロ教会
〒810-0045 福岡市中央区草香江 2-9-22
TEL 092-751-0097 FAX 092-751-9916
発行人 司祭 バルナバ 牛島幹夫

254号

2020.11.15 発行

YASURAGI



「目を覚ましていなさい。あなたがたは、

その日、その時を知らないのだから。」 マタイによる福音書 25:13

司祭 バルナバ 牛島幹夫

冒頭の聖句は11月8日(日)に読まれた主日福音書(マタイ25:1-13)の最後の言葉です。この日は、天の国についてのたとえが読まれました。10人のおとめが灯火を持って花婿を待ちます。このうち、5人は賢く、5人は愚かだったと書かれています。賢いおとめは、灯火の火が消えないように壺に油を用意していました。愚かなおとめは、灯火だけを用意して余分な油を用意していませんでした。ちなみに、当時のユダヤの婚礼は夜に行われていて、花婿を迎えるためには灯火が必要だったのだそうです。また、花嫁を迎えに出た花婿は、婚宴の会場に到着するまでにあちらこちらに寄ってくるために、婚宴の席への到着がいつになるのかわからないのが普通だったようです。ですから、花婿を迎えるおとめたちは灯火を持って、いつくるかわからない花婿を待つことになっていたわけです。

さて、花婿の到着を待っているおとめたちは、「皆眠気がさして眠り込んでしまった。」と書かれています。このたとえの最後には「目を覚ましていなさい。」と書かれています。花婿を待つおとめたちは全員眠り込んでしまったのです。わたしたちが、だれしも弱いものであることをイエス様がよく分かってくださっていることを、この一節から感じます。居眠りしているこの10人は、「花婿が来た」という知らせの声を聞いて一緒に目を覚まします。そして、ここでようやく愚かなおとめは油が足りないことに気づくのです。愚かなおとめは賢いおとめに「油を分けてほしい」と頼みますが、「分けるほどはありません」と言われてしまい、油を買うため

にその場を離れなければいけません。しかし、その場を離れている間に花婿がやってきて、婚宴の席の扉が閉じられてしまうのです。遅れてきた5人の愚かなおとめは、もう中に入れてもらうことが出来ませんでした。

賢いおとめと、愚かなおとめの違いは、壺に油を用意していることでした。では、壺に油を用意するとはどういうことでしょうか？また、この花婿を迎えるということは何を指すのでしょうか？

私は、この花婿をイエス様だと思えば良いと考えています。わたしたちクリスチャンは、イエス様が再び来られるのを待つ者です。わたしたちはイエス様が来るときに、賢いおとめが油を用意していたように、すぐ招き入れる用意が出来ているのでしょうか？そして、イエス様をお迎えするためにどんな用意が必要でしょうか？共に聖書を読み、祈りながら、福岡聖パウロ教会の歩みや宣教がイエス様を迎え入れるにふさわしいものになることを求めていきましょう。

今、教会では聖堂建築についての取り組みが少しずつ進んでいます。この計画が、イエス様を迎えるにふさわしいものになるように皆で祈りながら知恵を絞って参りましょう。

